

【事業の名称】国際アニメーションコース創設に向けた日中韓Co-work カリキュラム

【選定年度】平成28年度（タイプA-② CAMPUS Asia）

【事業の概要】

■本事業では、新時代のアニメ・映画監督を育成するために、国際的にも同分野で評価の高い日本・中国・韓国の国立大学が、国際共同制作を基盤とした共同カリキュラムを構築する。三大学の高度な連携により可能となるこの事業は、アニメーションの国際教育拠点形成を見据えた、世界をリードする取組である。

【交流プログラムの概要】



東京藝術大学



中国伝媒大学



K ARTS 韓国芸術総合学校

国際共同演習

日中韓の学生によるアニメーション作品の国際共同制作



短期集中講座

各国の技法・表現等を重点的に修得

■特別講義、インターンシップ、ワークショップなど ■年間2-3人の学生を相互派遣/受入

【本事業で養成する人材像】

- ・アニメーション分野において国際共同制作や共同研究を牽引する人材
- ・国際的な視野を持ち、深い知識と高い技術を国際協働の場で活かせる人材
- ・映像分野におけるグローバル化を先導する人材

【本事業の特徴】

■日本・中国・韓国という、映像メディアおよびアニメーションの分野で評価の高い国々において、各国を代表する国立大学の学生が混成チームによりアニメーションの共同企画から制作までを行うプログラムは、世界的に見ても例のない極めて先進的かつ実践的なものであり、高い教育効果と社会的なインパクトを有する。

【交流予定人数】	H28		H29		H30		H31		H32	
日本(J)での受入	C	0	C	8	C	2	C	8	C	7
	K	0	K	7	K	3	K	7	K	8
中国(C)での受入	J	0	J	3	J	7	J	8	J	2
	K	0	K	2	K	8	K	8	K	3
韓国(K)での受入	J	0	J	7	J	8	J	2	J	8
	C	0	C	8	C	7	C	3	C	7

1. 取組内容の進捗状況（平成28年度）

【東京藝術大学】

【事業名称】 国際アニメーションコース創設に向けた日中韓Co-work カリキュラム

【選定年度】 平成28年度（タイプA-② CAMPUS Asia）

■ グッドプラクティス等



■ 交流プログラムの実施状況

【国際共同演習】

平成29年度プログラムの実施概要・テーマ・スケジュールを確定させ、詳細な内容・評価方法・成果発表の手段等を設計し、実施体制の整備を進めた。

【短期集中講座】

平成29年度のプログラムについて各大学の企画を検討したほか、平成29年2月には韓国芸術総合学校において2週間のヴァーチャル・リアリティ（VR）のワークショップを開催した。本学からは7名の学生が参加し、韓国芸術総合学校の学生5名、中国伝媒大学の学生5名と共同学修した。

	H28	
	計画	実績
日本(J)での受入	C 0	C 0
	K 0	K 0
中国(C)での受入	J 0	J 0
	K 0	K 0
韓国(K)での受入	J 0	J 7
	C 0	C 5

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

- ・日中韓学長フォーラムに参加し、他大学の優良事例やエラスムス+に関する情報を収集した。
- ・韓国芸術総合学校および中国伝媒大学において、連携大学間の対面協議を開催した。
- ・三大学の担当教員同士によるskypeミーティングを定期的実施した。
- ・アメリカ、カナダ等の教育研究機関への往訪や、海外から数十名のアーティストの招聘を進め、アニメーションや映像メディア領域に係る最新の技術・ノウハウ・機器類等の調査を行った。
- ・産業界・自治体等との共同事業を通じ、緊密な連携関係を構築した。
- ・全学組織であるグローバルサポートセンター運営委員会において本事業の自己点検を実施した。
- ・本補助事業を含むグローバル戦略推進状況について外部委員によるレビューを行った。
- ・機器類/設備類の調達等により、質の高い教育プログラムを実現する為の環境を整備した。

■ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備

- ・本事業を担当する特任教員および支援スタッフを雇用した。
- ・英語によるプレゼンテーションに係る学習プログラムを設計・試行した。
- ・SGU事業により構築したグローバルサポートセンター、チューター制度等を活用した。

■ 事業の実施に伴う大学の国際化の状況、情報の公開、成果の普及

- ・本事業に係る連携三大学共同の特設Webサイトを開設し、事業の全体概要や将来構想等について発信したほか、上述のVRワークショップの成果等についても公開した。
- ・本事業を含む本学映像研究科の国際展開に係る報告書を作成し、全学的に共有した。
- ・本学と韓国芸術総合学校との間で、本事業について、双方の学長同士による対面協議を実施した。また、当該協議の場には、韓国の国会議員2名も同席した。